

## (専門分野)

授業科目	小児看護学演習	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.子どもの成長・発達についてアセスメントできる。 2.病気や入院が子どもと家族に与える影響とその看護を理解する。 3.子どもに対する基本的看護技術の習得ができる。				時間数
					30
					学年
					2
					時期 第2学期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1~2	発育・発達の評価	1.健康障害をもつ小児の身体発育・機能的発達・心理社会的発達のアセスメント		講義 演習	教員
3~4	病気や入院が子どもと家族に与える影響とその看護	1.病気や入院が小児と家族に与える影響のアセスメント 1)小児にあった入院環境		講義 演習	教員
5~14	小児看護に必要な技術	1.コミュニケーション技術 1)発達段階に応じたコミュニケーションの特徴 2)言語・非言語を含めたコミュニケーションの方法 3)発達に応じた説明と同意 4)検査を受ける小児へのプリパレーション・ディストラクション 5)フィジカルアセスメント (1)乳幼児のバイタルサイン測定 (2)身体測定 6)診療に伴う看護技術 (1)与薬(内服・座薬) (2)ネブライザーを用いた気道内加湿 (3)吸引、採血、点滴準備 (4)輸液の管理と点滴時のシーネ固定 7)遊びへの援助 発達段階や安静度に応じた遊び 8)サークルベットからの転落防止 9)小児の清拭・更衣		講義 演習	教員
15	評価	単位認定試験 (45分) まとめ			
評価方法	筆記試験 50点 課題 50点	テキスト	系統看護学講座 小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学[2]小児臨床看護各論		